

## 2010FID ジャパン・チャンピオンシップバスケットボール大会(第15回) 総 括

第15回を迎えました標記記念大会を大阪府大阪市にて盛況に開催できましたことに、ご尽力を賜りました関係各位に連盟を代表して心より感謝申し上げます。

今年度は大阪府中央体育館を会場に、全国より男女併せて30チームが出場いたしました。

試合内容につきましても、各選手の個人技能、集団スポーツならではのチーム力が確実にアップしており、各チームのコーチ並びに関係者の熱意ある指導の賜物であると改めて感じた次第です。平素チームで練習されている成果が見事に発揮されたものであり、観戦して頂いた皆様には十分に満足頂けたものと感じております。

さて、ここ数年のファイナルは、男女ともに非常にハイレベルな展開となっております。男子は昨年 A ブロック優勝の PWL メイジャーズ(神奈川県)と、準決勝で昨年準優勝のつばさクラブ(東京都)を破り、初の決勝戦に進んだ秋田県チーム(秋田県)の初顔合わせとなりました。個人技能に優れる選手が多い PWL メイジャーズに対し、チーム力として優る秋田県チームがどのように戦うか、関係者一同が緊迫して見守る中スタートしました。PWL メイジャーズは④津恵、⑤守屋のベテランを核に⑥中野、⑦高木等が自己の特徴を生かし、素晴らしい内容であったと思います。対する秋田県チームは④斉藤(現日本男子代表チームキャプテン)を中心に、⑤谷、⑦長岐、⑭鈴木等の若手選手が予想以上に気迫溢れるプレイを見せてくれました。終始リードをした PWL メイジャーズが3年連続優勝を手にしましたが、ファイナルとして相応しい内容であったと思います。また、閉会式時に財団法人日本バスケットボール協会の今様からもお話があったように、秋田県チームの選手が試合終了後に汗で濡れた自ベンチを選手自らがタオルで拭き、片付ける様子を見て、選手とし、一人の人間としてのマナーが行き届いていることに感銘いたしました。秋田県チームのコーチ、関係者の皆さんの指導の賜物と痛感しており、日本代表選手を預かる私を含む関係者も改めて学ばせて頂きました。

女子につきましても回を重ねるごとに技術的なレベルの向上が見られ、昨年チェコで開催された「第2回 INAS-FID グローバル大会」に於いて日本女子代表チームが銅メダルを獲得しております。決勝戦は6年連続、春日井クラブ(愛知県)VS つばさクラブ(東京都)のカードとなりますが、互いに日本代表選手を多く有し、完成度の高いチーム同士の戦いでした。

つばさクラブは現日本女子代表選手の神田、森下、新井の機動力を生かした 2-2-1 のオールコートプレスが上手く機能し、ゲーム序盤から主導権を握りました。またベテランの菊地が決して慌てることなく上手くゲームをコントロールし、優勝に導きました。昨年準優勝に甘んじているだけに今年は絶対優勝するという気迫がチームから感じられました。対する春日井クラブは広瀬、峯松、井藤等を中心としたスピーディーなゲーム展開で、前半までは互角に戦うことが出来ました。第3ピリオドでターンオーバーが続いてしまったのが残念ですが、第4ピリオドは立て直して成功し、対応力が高い部分を証明してくれました。両チームともに素晴らしいチームに成長しております。

年に一度のチャンピオンシップ大会ではありますが、全国から多くのチームに参加頂いております。資金的な部分も含め、チーム関係者には多くのご苦勞があろうかと存じますが、選手の一生懸命にバスケットボールに取り組む姿勢を見ることが出来ますことは嬉しい限りであります。特にナイスプレイをした選手の笑顔は歓喜溢れるものがあり、観戦する人々に多くの感動を与えてくれます。会場内での大きな声援、拍手に対し、必死に期待に応えようとする姿はまさしくアスリートであります。実際に観戦して頂いた皆様には、「障害が有る無しに関係なく、バスケットボールに取り組む姿は、何ら変わりはない」と改めて実感されたことと思います。また、バスケットボールから学ぶものは多く、選手が就労先や学校で何事にも取り組む姿勢や態度等に変化が表れているというご意見もチーム関係者から多数寄せられています。競技から多くのものを学び、選手として、社会の一員として今後、益々成長出来るように我々もこの ID バスケットボールの環境強化に連盟としてより一層の努力をして参ります。

最後に大阪府、大阪市、大阪バスケットボール協会をはじめ、地元大会役員、競技役員、補助役員、また本大会にご支援を賜りました独立行政法人福祉医療期機構、財団法人日本バスケットボール協会、株式会社デンソー、株式会社モルテン、大塚製薬株式会社、広告協賛各社に方々の多大なるご理解ご協力を賜りました。本当にありがとうございました。この場をお借りし、改めて感謝の意を申し上げ、本大会の総括といたします。

2010FID ジャパン・チャンピオンシップバスケットボール大会  
大会委員長 小川直樹